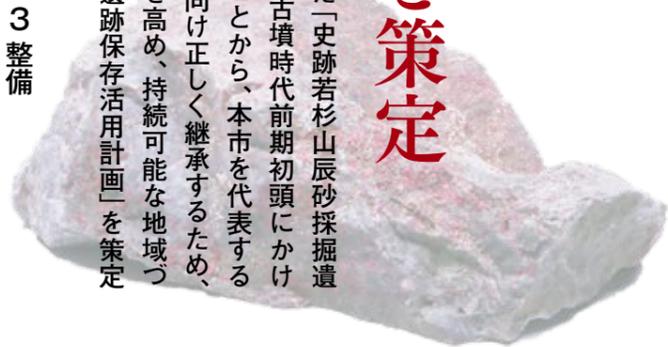


若杉山辰砂採掘遺跡

保存活用計画を策定

令和元年(2019)10月16日に国の史跡に指定された「史跡若杉山辰砂採掘遺跡」は阿南市水井町の山中にある弥生時代後期初頭から古墳時代前期初頭にかけての辰砂採掘遺跡です。阿南市では史跡指定を受けたことから、本市を代表する貴重な歴史文化遺産である史跡を適切に保存し、未来に向け正しく継承するため、また地域資源として活用することによって地域の価値を高め、持続可能な地域づくりに貢献することを目的とし、「史跡若杉山辰砂採掘遺跡保存活用計画」を策定しました。



3 整備

○これまでの発掘調査や調査研究等の成果を踏まえ、保存活用のための整備を行う。

○来訪者・見学者が史跡に親しみ、その価値を正しく理解し、安全に見学できるような整備を行う。

4 運営・体制の整備

○行政だけでなく、地域住民およびその他関係団体、研究機関が連携し、一体となって史跡の保存活用、整備を図る体制を構築することをめざす。

具体的な活用の方策(一部抜粋要約)

1 史跡の理解、関心を高めるための活用

3 地元住民やその他各関係機関と連携した活用

○拠点地(ビジターセンターなど)の検討。

○地元住民やその他関係団体と連携し、各種事業を執行していく。

○ルールを定め、段階的に史跡内の見学会を実施する。

○地元住民等による史跡ガイドを育成する。

○案内板や説明(解説)板を設置する。

○市内中心地に看板を設置する。

○イベントを継続し、史跡の価値を発信していく。

○大学などの各研究機関と連携し、継続的に進めていく。

○小中高等学校での出前授業を行う。さらに教育現場と連携し体験学習等のプログラムを作成する。

2 本史跡を中心に周辺の地域資源と一体とした活用

○地域が持つ歴史・自然遺産と若杉山辰砂採掘遺跡を一体化させた活用を進める。

4 さらなる調査研究の推進と促進

○さらなる調査研究を進め、本史跡の該当分野における研究拠点としての活用を図る。

○地元住民やその他各関係機関と連携した活用を図る。

○史跡の理解、関心を高めるための活用を図る。

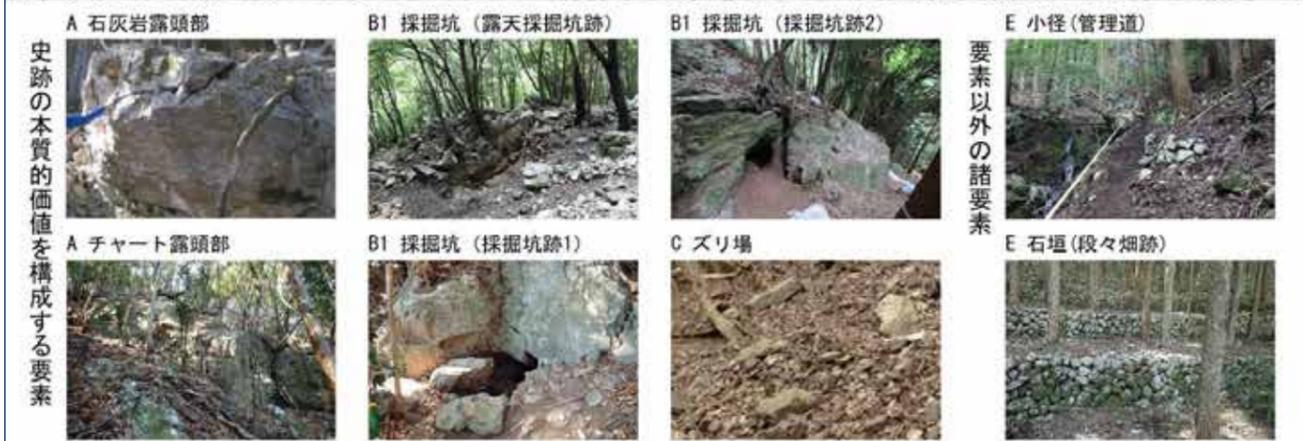
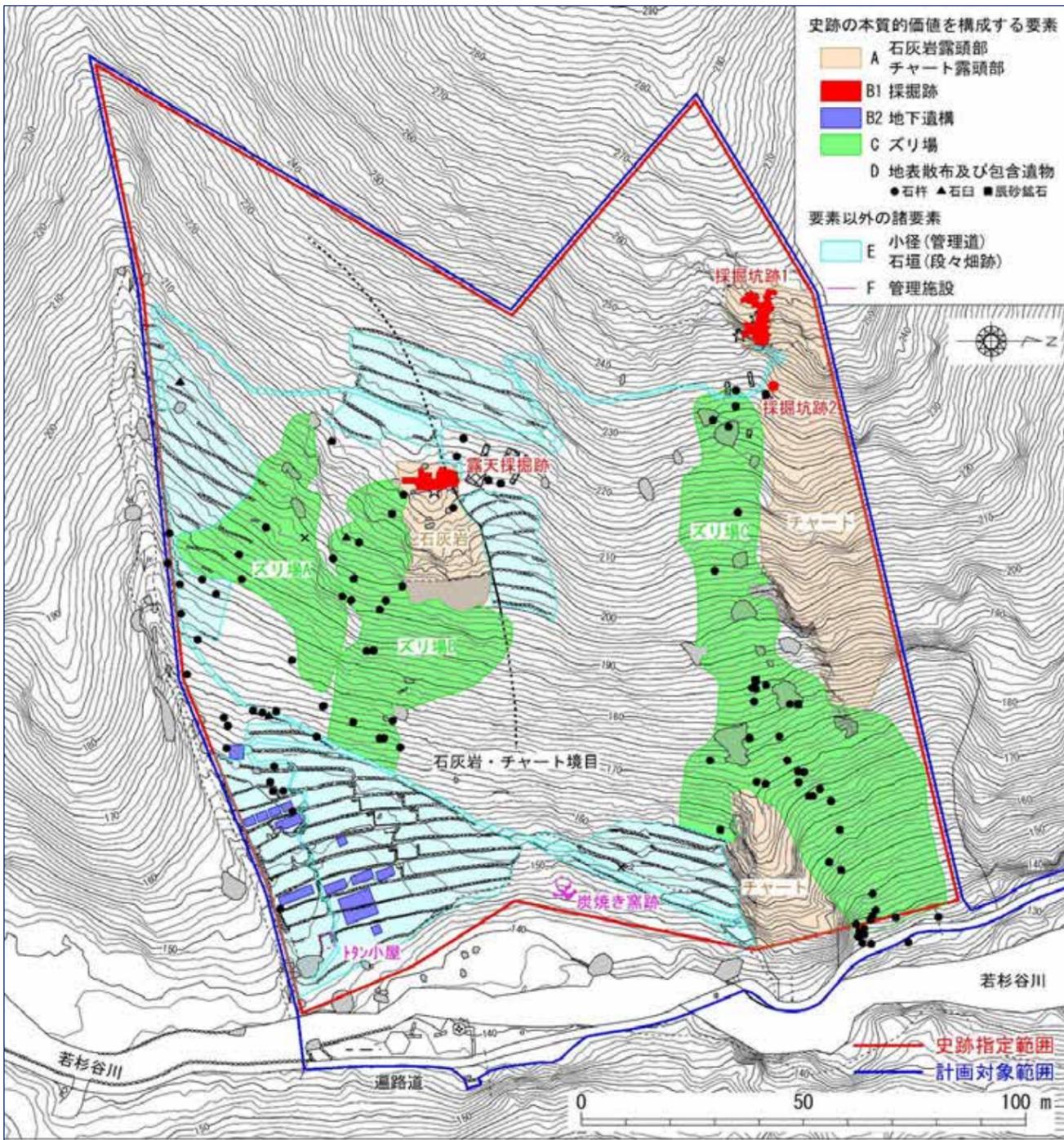
○本史跡を中心とした周辺の地域資源と一体とした活用を図る。

○地元住民やその他各関係機関と連携した活用を図る。

○現状変更の方針を定め、適切に運用する。



問い合わせ
文化振興課 ☎22-1798



1 保存管理

○本史跡を適切に保存し、確実に将来に伝える。

○現状の把握を適切に行う。

○本史跡の価値のさらなる解明に向け、調査研究を継続する。

○現状変更の方針を定め、適切に運用する。

2 活用

○史跡の理解、関心を高めるための活用を図る。

○本史跡を中心とした周辺の地域資源と一体とした活用を図る。

○地元住民やその他各関係機関と連携した活用を図る。

○さらなる調査研究を進め、本史跡の該当分野における研究拠点としての活用を図る。

3 整備

○これまでの発掘調査や調査研究等の成果を踏まえ、保存活用のための整備を行う。

○来訪者・見学者が史跡に親しみ、その価値を正しく理解し、安全に見学できるような整備を行う。

4 運営・体制の整備

○行政だけでなく、地域住民およびその他関係団体、研究機関が連携し、一体となって史跡の保存活用、整備を図る体制を構築することをめざす。